

ZANDEN Model 120 の展開(89) ーベーターヴェンを聴き直す(24)ー

1. 始めに

前報(88)に引き続き、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤を聴き直していきます。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス/バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス/バランス変換プラグ)→(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。また、LP-12 の軸受けをカルーセルに更新しています。

音源としては、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤から選んでいきます。

今回は、ベーターヴェンの交響曲第 5 番を選定しました。

LONDON SLA1072(キングレコード)

交響曲第 5 番ハ短調作品 67 「運命」

レオノーレ第 3 番作品 72a

ゲオルグ・ショルティ指揮シカゴシンフォニーオーケストラ

DENON OF-7013-ND

交響曲第 5 番ハ短調作品 67 「運命」

オットマール・ズイトナー指揮ベルリンシュターツカペーレ

これらは、下記で聴いています。

[アナログ再構成後の活用\(41\)](#)

[アナログ再構成後の活用\(42\)](#)

3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、ZANDEN 社から提供されたリストを参考にして選択していきます。

LONDON SLA1072(キングレコード)のシヨルティ盤は、TELDEC、逆相、第4時定数 High で聴いていきます。

運命もレオノーレもともに、いかにもシヨルティらしい、歯切れがよく、豪快なベートーヴェンです。特に終盤の盛り上がりなどが聴きどころです。

DENON OF-7013-ND のズイトナー盤は、ドイツの正統派オーケストラらしい、重厚でオーソドックスな演奏です。比較的初期のPCM録音ですが、以前の印象よりアナログらしさがでてきています。クレジットには、B&Kのマイク使用との記載があり、忠実度の高い音がしています。

4. まとめ

これまでの試聴同様、前報(24)で報告しましたように ZANDEN Model 120 の導入などの効果があって、上記の曲の演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上